

第2回 環境教育講演会

— 大気科学の最前線と環境教育 —

主催 日本化学会環境・安全推進委員会 後援 日本理化学協会・日本私学教育研究所（以上予定）

会 期 平成21年8月18日（火）13時00分～17時15分

会 場 化学会館会議室（東京都千代田区神田駿河台1-5）

[交通] JR 御茶ノ水駅、丸ノ内線 御茶ノ水駅、千代田線 新御茶ノ水駅 下車徒歩5分

募集人員 50名

趣 旨 大気環境はこの100年間に大きな変貌を遂げつつあります。我々が自身の繁栄のために享受してきた利便性やエネルギーの代償として、多くの借金を次の世代へ残してしまっているわけです。我々には、環境負荷を低減していく努力義務があると同時に、次世代を担う若い人たちに「正しい情報と価値観」を伝えていく必要があります。今回は、大気研究の最前線で活躍されている研究者をお招きして、現在の地球環境の状況と将来の見通しを、日常接している対流圏の大気問題（地球温暖化、光化学オキシダント、大気の酸性化）に焦点をあてながら、時間をかけてわかりやすく説明していただきます。

内 容 環境問題の常識、通説と反論、問題解決への方向性を最新の学術研究を踏まえて考察し、質問アンケート、総括討論、環境教育Q&Aなど、双方向の情報交換によって「魅力ある環境教育」の実現を目指します。

13:00-13:05 はじめに：環境教育はなぜ必要か？（環境・安全推進委員会）梶井克純

13:05-14:05 講演1 地球温暖化問題を考える

（海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センター特任上席研究員、

東大・北大名誉教授、日本学士院賞受賞者）松野太郎

14:10-15:10 講演2 光化学オキシダントの環境への影響

（首都大学東京 都市環境科学研究科 教授）梶井克純

15:10-15:30 交流会：質問受付＋回収＋名刺交換会

15:30-16:30 講演3 大気の酸性化と酸性雨問題（東京農工大学農学部 教授）原 宏

16:30-17:15 総括討論・環境教育Q&A

対 象 初中等教育現場で環境教育を担う教員、環境問題に取り組む企業技術者・研究者、環境問題の最新情報を求める一般社会人、環境問題の全体像把握を目指す学生・生徒など。

参加費 無料。講演資料代1,000円。

参加申込方法 「8/18環境教育講演会 出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX番号・e-mail・会員/非会員の別を明記のうえ、下記申込先あてe-mail（matsubara@chemistry.or.jp）にてお申込みください。なお、講演資料代の銀行払い・請求書をご希望の節は、その旨お書き添えください。

申込先 101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 日本化学会企画部 松原・保倉

TEL 03-3292-6163、FAX 03-3292-6318、E-mail: matsubara@chemistry.or.jp